

明るい笑顔で図書館の夢を語る

— Future Librarian「全国図書館大会U40プレミアセッション」報告 —

★

萬谷ひとみ・大谷周平・重川須賀子

★

●はじめに

2009年10月29日「U40（アンダーフォーティ）プレミアセッション」が開催されました。このイベントは、第95回全国図書館大会の関連行事として、40歳以下の若手・中堅図書館関係者たちが「今、目の前の問題についてではなく、これからの図書館、未来の図書館について語ろう！」「普段なかなか知り合えない、他県の人、他館種の人とつながりを広げよう！」というコンセプトのもとに企画したものです。

はじめは、全国大会が行われる東京での開催を考えていましたが、志を同じくする人々が次々と名乗りを上げることで、全国に地方会場が生まれていきました。これにより、「全国の図書館関係者が一堂に集まる」から「全国各地で図書館関係者が一斉に集まる」という図書館界では例をみないイベントとなりました。最終的には、全国12会場（山形、仙台、新潟、水戸、東京、名古屋、三重、京都、大阪、岡山、福岡、沖縄）で計330名の参加者が集まりました。さらに、ビデオ会議システムを使用することでライブ中継を行い、各会場をつなぎました。

参加者の募集は、ちらしやホームページをはじめ、各事務局員のブログ・Twitter¹⁾・mixiなど、



▲U40プレミアセッションのTwitterアカウント

若者ならではのツールも利用して行いました。また、海外に向けても発信しよう、とイベント情報を英語・中国語・韓国語に翻訳し、ホームページ上へと掲載しました。残念ながら海外会場は実現できませんでしたが、次へつなげるきっかけが作れたと思っています。

本稿では東京会場・沖縄会場についてそれぞれの参加者の感想を紹介します。

●U40を終えて私に残ったモノ～東京会場



▲東京会場

東京会場は全国でも最大の120名を集めました。第1部として、参加者10人のライトニングトークという3分間のショートスピーチに始まり、『未来をつくる図書館』の著者、菅谷明子さんから貴重な激励メッセージを読み上げました。第2部の「自由おしゃべりタイム」では、参加者それぞれが名刺交換や図書館に対する熱い思いを語り合い交流しました。最後は、スペシャルゲストである国立国会図書館の長尾真館長のスピーチで幕を閉じました。長尾館長は、図書館関係者への大きな期待と、今後の図書館の方向性についてお話されました。このスピーチの様子は現在インターネット上で公開されており、ご覧いただくことができます²⁾。

散会時には、全国の図書館関係者からご寄付いただいたさまざまなグッズのお土産を配りました。事務局として参加した本稿執筆者の一人である萬谷は、当日の様子を振り返って、

「U40プレミアセッションを終えた今、私の手元にはたくさん名刺が残りました。多分、みなさんもそうだと思います。この出会いを今回限りにせず、これからも一緒に、より良い図書館づくりをしていきたいと考えています。それではみなさん、また来年もお会いしましょう！」と今後への期待を語りました。

●U40プレミアセッションに参加して～沖縄会場



▲沖縄会場

沖縄会場は参加者25名、公共・大学・学校・専門図書館や公文書館の方、図書館情報学研究者などさまざまなバックグラウンドを持つ方が集う場となりました。ここでは、病院図書館に勤務する重川の感想を紹介します。

「少々緊張しながら参加したU40でしたが、少人数でゆったりとしたアットホームな雰囲気でした。普段は館種の異なる図書館員の方々とゆっくりお話しをするチャンスはほとんどありません。ですから今回いろいろな図書館の方々と顔の見えるお付き合いができ、新鮮な気持ちになりました。

特に嬉しかったことは、いつも仕事でお世話になっている大学図書館の方々とお話しができたことです。日ごろはメールや電話でしかやり取りがなく、業務の用件しか話すことはしません。ですから改めてお礼を伝えたり、業務改善のヒントになるようなざくばらんなお話しをする機会を得ることができてとてもよかったです。また、懇談の合間に時間を作っていただいて病院図書室について紹介をすることもできました。病院の図書室は図書館員の間でも認知度が低いため、今回のよ

うにさまざまな館種の方に直接アピールできたことは貴重な機会となりました。

会場にはノートパソコンが用意されており、東京や仙台の会場の様子が中継されていました。活気のある雰囲気伝わってきて、沖縄にしながら全国の仲間と一体感を得ることができました。U40に参加することで、遠い存在であった全国図書館大会や全国の図書館員の方々を少し身近に感じることができたのは、大きな収穫でした。

図書館員は司書としてのスキルアップのためにも、日々の業務のためにも館種をこえた横の連携が大切だと思います。これからも継続してこのような交流の場を持てるとよいと思います。このような企画を立案し運営して下さった皆さまに感謝いたします。」

●おわりに

いかがでしょう。各会場の様子や雰囲気は伝わりましたか？このほかの各会場の様子や寄せられたメッセージなどはイベントホームページ¹⁾に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

U40プレミアセッション、全国各地で図書館関係者300名以上の人々が各地で一斉につどい、図書館の未来について語るという空前のイベントは大盛況のうちに終わりました。これはイベントのコンセプトを共有して下さった参加者のみなさま、趣旨をご理解いただき寄付やグッズ提供をして下さった支援者のみなさまあってのことだと思います。この成功が今回限りとならず、関わったすべての方にとって新たな節目となり次のステージへと展開していくことを願っています。

注

1) U40プレミアセッションのTwitterアカウント〈http://twitter.com/f_librarian〉(2009年11月18日)

2) 全国図書館大会 U40プレミアセッション マガジン航[ko:] 〈<http://www.dotbook.jp/magazine-k/2009/11/18/u40/>〉(2009年11月18日)

3) Future Librarian 全国図書館大会 U40プレミアセッションへようこそ！ 〈<http://futurelibrarian.g.hatena.ne.jp/>〉(2009年11月18日)

(よろずや ひとみ：新宿区立中央図書館、おおたに しゅうへい：琉球大学附属図書館、しげかわ すがこ：沖縄県立中部病院医学図書室・ハワイ大学沖縄事務所)

[NDC9：010.6 BSH：1.図書館員 2.全国図書館大会]